

へいせい ねんどだい かいかわさきくくみんかいぎ
平成29年度第5回川崎区区民会議

ぶかい しだい
「だれもが住みたいまちをつくる部会」次第

にちじ へいせい ねん がつ にち か ごご じ ぶん
日時：平成30年1月30日（火）午後6時30分
ばしょ かわさきやくしょ かい だい かいぎしつ
場所：川崎区役所7階 第1会議室

1 かいかい
開会

2 ぎだい
議題

(1) しんぎかだい かいけつさく しゅほう けんとう しりょう
審議課題の解決策・手法の検討について（資料1）

(2) くみんかいぎふ おーらむ しりょう
区民会議フォーラムについて（資料2）

(3) しんぎすけじゅーる しりょう
審議スケジュールについて（資料3）

3 そのた
その他

はいふしりょう
【配布資料】

- しりょう しんぎかだい
資料1：審議課題について
- しりょう くみんかいぎふ おーらむ じっしがいよう あん
資料2：区民会議フォーラム実施概要（案）
- しりょう しんぎすけじゅーる
資料3：審議スケジュール

第6期川崎区区民会議「だれもが住みたいまちをつくる部会」審議課題について

審議テーマ1：地域による見守り活動の推進

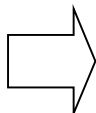
- 第5期区民会議で実施した見守り活動の実態調査を踏まえた取組の展開の検討
- 見守り活動を行っている支援者が活用できる「(仮称)見守り支援マップ」づくりのための支援と普及の検討

取組の方向性

- ◇ 第5期区民会議で実施した「見守り活動の実態調査」を踏まえて、作成したパンフレットを活用し、継続的に普及・啓発に取り組んでいくため、パンフレットの第2弾を作成する。
- ◇ 第2弾のパンフレットの内容は、第5期に引き続き特徴的な見守り活動の事例紹介を掲載するとともに、見守り活動を行っている支援者自身が作成し、見守り活動に活用できる「(仮称)見守り支援マップ」の作成方法等の提案を掲載する。
- ◇ 作成する第2弾のパンフレットを見守り活動に関係のある団体等に配布し、特徴的な見守り活動の事例と「(仮称)見守り支援マップ」づくりを普及・啓発する。

審議における検討事項

- ◇ 第2弾のパンフレットの具体的な内容の検討
- ◇ 特徴的な見守り活動を行っている団体等の選定、ヒアリングの実施についての検討
- ◇ 「(仮称)見守り支援マップ」の主旨の明確化、マップを作成する対象者の整理、作成手順の整理検討、マップに掲載する情報等の例示の検討
- ◇ マップ作成後の普及・啓発方法の検討



平成29年度第4回部会(11/14)で出された意見

- ①写真にキャプションを入れた方がいい。
- ②4ページの下にある「外国人市民のための主な相談窓口」の部分が、項目が多すぎるような気がする。もう少し絞って、区の関係の相談機関だけを記載するほうがよい。

平成29年度第2回全体会(12/19)で出された意見

- ①見守りマップの作成ですが、高齢者などだけではなく、見守りが必要な子どももいると思うので、マップの家庭版というものもあっていいのではと感じた。
- ②第1弾の見守りパンフレットでは、外国人のことは掲載していなかったが、第6期で議論していく中で、外国人も地域で見守っていく対象であるという認識になり、第2弾の見守りパンフレットでは外国人についても掲載することになり、とてもよかった。今後もこの考えを広めつつ、地域で外国人のことも見守ることができれば、住みやすいまちになっていくと感じる。

【本日の報告・検討事項】

- ①見守りパンフレット第2弾の掲載内容の最終確認
- ②最終提案の方向性の確認

● 最終提案の方向性

「広げよう！見守りの輪～地域住民による見守り活動の推進～」

【内容】

- ・区民会議では、地域住民による、子ども・高齢者・外国人等を見守り活動の推進・活性化を図っていくため、『見守り活動啓発パンフレット』を第5期に作成し、普及・啓発を進めてきました。
- ・第6期区民会議では、継続的に見守り活動の啓発や広報を図っていくため、『見守り活動啓発パンフレット』の第2弾を作成しました。パンフレットの内容は、見守り活動を行っている区内の団体の紹介や、見守り活動者が自ら作成し活用できる「見守り活動マップ」づくりの紹介を掲載しています。
- ・今後も、『見守り活動啓発パンフレット』の第1弾、第2弾を活用しながら、見守り活動に関係のある団体等(町内会、自治会、民生委員など)に配布し、地域住民による見守り活動の啓発・広報を行っていくことを提案します。

審議テーマ2：子育て支援の充実

子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開

取組の方向性

- ◇第1回、第2回情報交換会を開催した「大師地区」で第3回目の情報交換会の開催を検討する。
- ◇「中央地区」・「田島地区」での情報交換会の開催を検討する。

審議における検討事項

- ◇情報交換会の開催に向けた体制づくり（事務局機能の担い手など）や子ども育成支援団体同士のネットワークの構築に向けた検討

子育て支援に関する取組の検討

取組の方向性

- ◇子育て支援のための方策を検討する。

審議における検討事項

- ◇お父さんお母さんが子育てについて話し合う機会をつくるなど、子育てに関する取組を検討

家庭教育への取組の推進の検討

取組の方向性

- ◇貧困家庭の子どもへの学習支援や、子どもの犯罪対策など、家庭教育への取組の推進を検討する。

審議における検討事項

- ◇家庭教育への取組に向けて、内容の検討

平成29年度第4回部会（11/14）で出された意見

- ①前回の情報交換会は、区民会議委員は傍聴という形だったが、今回は区民会議委員もグループの中に入って議論に混ざることができた。ご意見も活発に出て、ワークショップだったので意見も言いやすく良かった。
- ②各団体が様々な活動をしていることは分かっていることだが、改めて皆さんたくさんの活動をしていることを実感し、情報交換会の必要性を感じた。今後も続けて欲しい。
- ③区民会議の提言としては、固い会議ではなく、緩やかな会議を進めていくことを支援してほしいというくらいの位置づけのことを提言していくといいと感じた。

平成29年度第2回全体会（12/19）で出された意見

- ①大師地区での子育て支援団体同士の情報交換会では、改めて意見交換していくことは大切だと感じたので、中央地区や田島地区でも実施できればいい。いずれは地区別ではなく区全体で会を開催できれば、よりよい子育て支援が進められると思う。
- ②関わっている大人だけではなく、子どもたちに直接意見を聞く機会もあってもいいと感じる。生の声を聞くことで、よりダイレクトな意見が出てきて課題も見えてくる。

【本日の検討事項】

- ①最終提案の方向性の確認

●最終提案の方向性

「子ども育成支援団体の交流の促進」

【内容】

- ・区民会議では、子どもの育成支援活動を行っている団体同士の情報共有や連携・ネットワークづくりを進めていくため、大師地区で『子ども育成支援団体情報交換会』を第4期から開催してきました。
- ・第6期区民会議では、「第3回川崎区大師地区子ども育成支援団体情報交換会」を開催するとともに、継続的な開催をするための土台づくりの取組を進めるとともに、家庭教育への取組の推進についても重要な課題だと捉え、審議をしてまいりました。
- ・今後も、地域全体で子どもを支えていくため、子ども育成支援団体同士の交流や連携、ネットワークづくりに取り組み、『子ども育成支援団体情報交換会』の継続的な開催を提案します。

しんぎてーま がいこくじんしみんす
審議テーマ3：外国人市民も住みやすいまちづくり

くやくしょ がいこくじんまどぐちそうだんじぎょう
区役所の外国人窓口相談事業の

りようそくしんさく けんとう
利用促進策の検討

とりくみ ほうこうせい
取組の方向性

◇相談したい外国人市民に、窓口の存在が知られていない現状であり、外国人市民相談窓口の利用促進のため、外国人市民への広報の方法を検討し、普及・啓発を推進する。

◇相談窓口が一目でわかるチラシ（多言語版）を作成する。

◇また、外国人市民を見守るという視点で、外国人市民への支援を進めている民生委員や保護司、町内会への呼び掛けや、外国人市民同士をつなげることを目的として、「審議テーマ1：地域による見守り活動の推進」で作成する第2弾パンフレットに、外国人市民の支援について啓発する内容を掲載する。

しんぎ けんとうじこ
審議における検討事項

◇チラシ（多言語版）やパンフレットの体裁・内容などの検討

◇外国人市民の生の声を聞くためのヒアリングの実施の検討（目的、内容の整理）

へいせい ねんだい かいふかい だ いけん
平成29年度第4回部会（11/14）で出された意見

- ①縦割りではなく、総合的な情報発信をしていきたい。区が主体でやっている、身近な相談窓口に絞った方がいいのではないかと。日常生活の助けになるようなチラシを作りたい。
- ②外国人市民の情報の取り方も考慮すると、インターネットで情報を拾える方以外の方にどう情報発信していくかも課題だと思ふ。紙ベースの情報も大切ですが、それを入手できないような状況の方もいる。
- ③外国人市民が引っ越してきて、最初の区民課の手続きが入り口になる。多言語のタブレットの活用も合わせて考えていくといい。
- ④相談窓口でも多言語のタブレットを利用できるようにする必要がある。

へいせい ねんだい かいぜんたいかい だ いけん
平成29年度第2回全体会（12/19）で出された意見

- ①ゴミ収集車に、中国語で「ゴミを分別しましょう」というステッカーが貼ってあるのを見かけた。そういった小さなことから徐々に始めて、より具体的な取組を進めていけると少しずつ外国人市民も住みやすいまちになると感じた。
- ②以前、外国人向けの防災フォーラムに参加したが、その時に外国人の皆様に防災手帳を配布して、実際にその場で作成してもらった。両部会の取組が縦割りではなく横で繋がって実現した取組だと思った。今後も各提案が融合したような取組ができればいい。

ほんじつ けんとうじこ
【本日の検討事項】

- ①最終提案の方向性の確認

さいしゅうていあん ほうこうせい
●最終提案の方向性

「外国人市民への分かりやすい情報発信～外国人相談窓口の利用促進に向けて～」

【内容】

- ・行政には、外国人市民が利用できる相談窓口が設置されていますが、外国人市民にその存在が浸透していない現状があります。また、その窓口だけではなく、外国人市民は情報弱者の面もあり、外国人市民への情報発信や広報の方法についても課題があります。
- ・そのような現状を踏まえ、第6期区民会議では、まず外国人市民の生の声や外国人市民を見守る活動をしている方のご意見を聞くために、『外国人市民を見守る活動について考え、話し合うフォーラム』を開催しました。
- ・フォーラムでは外国人市民の困りごとや今後どのような取組が必要なのか等の意見交換をし、出された意見を踏まえて、情報弱者となっている外国人市民に向けての分かりやすい情報発信をしていくため、『(仮称)外国人市民相談窓口案内チラシ』を作成し、機会を捉えて外国人市民に配布するなど分かりやすい広報を行っていくことを提案します。